

## 学園整備事業、最終段階へ

協力会会長 谷澤 篤則

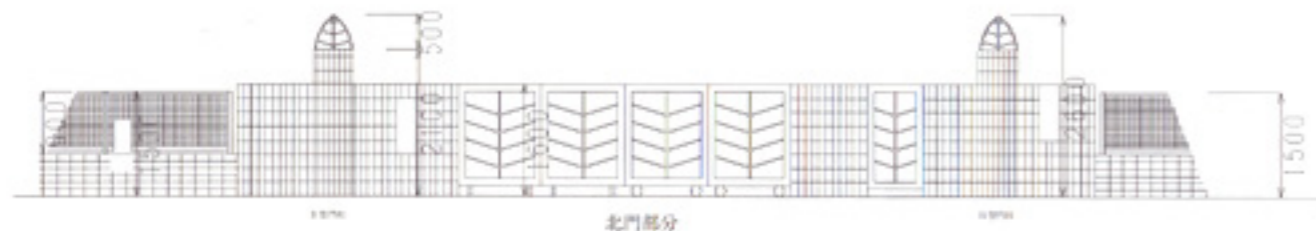
会員の皆様お元気ですか。いつもご協力いただきありがとうございます。

学園も新しい校舎もでき少しずつ環境が整ってまいりました。この冬には懸案でありました外構工事にも漸く一部着手することができました。ただ開発整備事業の遅れの影響を受け、校舎北側から西側にかけての一部道路と歩道の整備が進むだけで校庭部分を含む南側は来年度以降に持ち越しとなっております。肝心の正門ならびに幼稚園園庭の拡張部分の着手には至らず、まだまだ中途半端な感は否めません。しかし

学園を巡る環境は大きく変わり、日ごとに景観が変わるほどの変貌振りです。道路も大分付け替えが進み暫く行かないでいると道を間違えてしまうほどです。

日常生活からの体験を重視し、他者との比較よりも自己の改革・躍進に重きを置く学園の教育方針がますます重要に思われる世相の中で、スコールの存在は大きな価値があると思っております。今年度末より来年度にかけての外回りの整備事業によって、スコールのイメージもよりいっそう具体的な形になって外側に現れてくるものと思われまます。

会員皆様の更なる暖かいご支援ご協力をどうかよろしくお願い申し上げます。



## 平成18年度 盛岡スコール高等学校 募集要項

〈募集内容〉学科・定員 / 総合学科 男女200名 (科目選択の際 調理師免許取得は最大70名まで)

### ■ 第Ⅰ期募集

出願期間 平成18年1月11・12日  
 選考日 平成18年1月16・17日  
 選考方法 面接・課題作文  
 合格発表 平成18年1月24日  
 入学手続 平成18年2月3日まで  
 出校手続日 平成18年2月19日

### ■ 第Ⅱ期募集

出願期間 平成18年1月13～24日  
 選考日 平成18年1月27・28日  
 選考方法 面接・課題作文  
 合格発表 平成18年2月7日  
 入学手続 平成18年3月18日まで  
 出校手続日 平成18年3月18日

### ■ 学費

入学金 100,000円  
 施設設備費 50,000円  
 毎月授業料その他 35,000円

### ■ 寮費

入寮費 50,000円  
 施設設備費 50,000円  
 毎月寮費 58,000円

\*詳しくは 盛岡スコール高等学校事務局 (電話 019-636-0827)までお問い合わせください。



# ΣΧΟΛΗ 協力会報

NO.50 [平成17年12月]

発行

スコール協力会

〒020-0851  
 岩手県盛岡市向中野字才川2-3  
 TEL.019-636-0827 (代)  
 FAX.019-636-0830  
 E-mail: info@schole.jp  
 http://www.schole.jp  
 振替口座02380-0-479

## 就任にあたって

盛岡スコール高等学校 校長 舟山 治男

いつも学校法人スコールのことを、皆様のお心に留めていただき、心より御礼申し上げます。平成10年からの改築で、年毎にスコールの教育環境、設備等が整えられ、充実してきましたこと、ひとえに皆様のお蔭と存じ、重ねて感謝申し上げます。

さて、私事になりますが、今年度から宮本義孝先生の後を受けて、高校の校長をさせていただいております。何分にも非力なため、皆様のご期待にどれだけ報えるか判りませんが、精一杯努力していく所存ですので、どうぞ宜しくお願い致します。

私は、山形県小国町で胸部奇形児としてこの世に生を受けました。小学生の頃、自分の胸のことが気になり、裸になるのが嫌で逃げ回り、先生からも周りの生徒からもいじわるされた経験を持っています。なかなか自分に自信が持てず、暗い無口な少年時代を送りました。そんな自分の思いを察してか、一言も叱ったりしなかった母親が側にいたことが救いだったように思います。私は中学卒業後、地元にあった高校に入学し、そこで出会った数学の先生の影響で、数学の教師になりたいと思うようになっていました。親の反対を押し切って、新聞配達をして大学に通うことを決心し、上京しました。ところが、新聞配達をしながらの学生生活は想像を遙かに超えるもので、4年間の学生生活は学園からかけ離れた生活になってしまいました。そんな中、当時住んでいた町田で、一人の先生に会い、その先生を通して「神様は必ず窓を開けておいて下さるんだよ」と教わり、それを実感した4年間でもありました。東京に出てつけられたニックネームが「暗闇から出た牛」の私ですが、多くの人たちが私を励まして下さり、辛さを乗り切ることができました。しかし、卒業

はしたものの、教師になる力は全くありませんでした。一番は、人前で話が出来ない自分でした。思い立って、教師になるための自己改革を始めました。最初にやった仕事が、焼き肉屋のウェイターです。マスターから、「来たお客さんに3回感謝されるような接客が出来たら合格だ」と言われ、黙々と努力しました。1年後、ウェイターをやって、ようやくお客さんに挨拶が出来る自分になっていました。次に営業の仕事をしてもらいました。苦手なことをやることの辛さを嫌というほど味わいましたが、更に分が変わりました。2年間営業の仕事をした後、教える道に近づくべく塾に勤めました。教えることに自信がなかった私は、小学生を教えるのは楽かと思いましたが、ところが、初めは授業になりませんでした。大先輩から、小学生への禁句として教わった「判らない、知らない」は、今でも忘れることが出来ません。なんとか教えることが出来るようになったと思った時、もう32歳でした。そして、家内の親元の盛岡に22年前来て、縁あって当時の向中野学園に勤務させていただくことになりました。

こんな人生を送ってきた私には、大したことは言えないのですが、「その人の人生において、片時として無駄な時間なんてないということ。今の自分を作っているのは、今までの時間の過ごし方全てであること。過去を含めた変えられないものは受容すること。5年後、10年後の自分は今の自分ではないこと。変わろう、変えたいと思えば人は変わること。遅い、早いではなく、気がついた時がスタートであること。5年後、10年後の未見の我を信じて、今という時間に思いを込めて生活すること。」これを、スコールのモットー「生活即教育」にからめて、生徒達に言い続けたいと思います。

どうぞ、今後ともスコールへのご支援を宜しくお願い致します。





## 幼稚園の近況 ～みんなで食べるって楽しいね～

スコール幼稚園 園長 富澤 充

8時30分1番目のバスが到着です。静まりかえっていた園舎に子ども達の元気あふれた声が蘇ってきました。

子ども達は登園と同時に保育室、ホール、屋上、園庭などそれぞれ好きな場所を選び、友達と考えを出し合いながら元気いっぱい遊んでいます。中でも保育スペースの一角に並べられている食材コーナーは子ども達の人気の場所でもあります。

お米や魚、肉、豆腐、野菜など今日のメニューの材料が準備されており一目みただけで献立の内容が分かるようになってきました。お皿にのっている一匹の魚を恐る恐る触ってみたり時には果物に歯型がついていることもあり、自由自在に触れられることも魅力のようです。

1時間後にはフードケースの中にその日の食事が展示されるとのぞきにくる子が多くなり「早く食べたいねえ」「どんな味がするかな」などと材料と見比べながら会話がはずみます。

本幼稚園では給食を始めて50年になりますが同じものをみんなで食べる食事は子ども達にとってなにより楽しみのようです。

食事は楽しく食べることを基本にしており、いろいろな形態をとっております。クラスごとだったり学年ごとだったり、異年齢で食べることもあります。又、子ども達だけではなく保護者の方や地域の方と食べる日もあります。今年、盛岡スコール高校の調理科の生徒さんが幼児向けの食事を

作ってくださり4歳児と一緒に食べることができ、楽しいひとときを過ごしました。給食はランチ皿に盛られたものだけでなく自分で選択できるバイキング形式の時もあります。場所をかえて屋上やホールなどで食べることもありその時はより一層食事が進む子もいます。

それから、子ども達のもう一つの楽しみは自分達が栽培した野菜が給食にでてくることです。

3歳・4歳児は園庭やプランター・畑に人参やミニトマト、茄子、ピーマン、トウモロコシなどを植えて育てています。

5歳児は6月初めに親子でさつまいもの苗を植えました。10月の収穫を楽しみにしていましたが、生憎の雨で2度も延期になり、子ども達だけの収穫となりました。子ども達はお父さん・お母さんの分も掘るんだ！と張り切りいつも以上のパワーで頑張ってくれお土産も沢山できました。

10月18日は、5歳児が大根の収穫をしました。夏休み明けに植えた大根の種が大きく成長し抜くたびにあっちこっちから感嘆の声！泥んこになったのもすっかり忘れ無我夢中の収穫でした。おでんや豚汁にして食べたり残りは沢あん漬けにしました。

11月30日は、収穫感謝のもちつきでした。先生方の寸劇で自然の恵みをくださる神様や働いてくれる人達に「ありがとう」の気持ちを込めてもちつきをすることを学びました。5歳児が交代で



つき、3歳・4歳児は応援隊です。つきたてのもちを一人ずつちぎりあんこしょう油に入れ食べましたが自分達の手を加えた物は格別な味だったようで殆どの子がペロリと平らげました。

子ども達は環境を変えたりいろいろな人とかわって食べることで社会性や食事文化としてのマナーを身につけることもできます。また、種々折々の野菜を栽培し、草とりや水やりなどを通して生長の様子を観察したり、収穫期にはどのようにして野菜が採れるのかを実際に体験することで今まで知らなかった発育の様子や収穫の方法、その形に子どもなりの発見や興味もわいてくるようです。なにより嬉しいことは自分達で育てた野菜が

給食の中に登場すると苦手なものでもよく食べてくれます。子どもにとって食べることの楽しさや喜びを知るきっかけにもつながっています。

最近、ライフスタイルの変容が子ども達の食生活にも大きな影響を及ぼしています。

今「食育」の大切さがクローズアップされてきていますが、幼児期の味覚体験や食生活はその後の生活に大きく左右されると言われています。それ故「自分の健康を自分で守れる人」を育てることを目標に将来を見据えた食育が重要になってきます。今後も手作りの食事を基本に食材選びの吟味やバラエティに富む献立を作成し、子どもの心に残る食事を目指していきたいと思えます。



じっくり時間をかけて煮詰めて  
100%心を込めて・・・

**学園ケチャップ**  
380g

¥577 (小売価格)  
¥5,664 (12本入 1ケース価格)

学園製品 人気NO1! 「カロチン」と「リコピン」をいっぱい含んだトマトをふんだんに使用した実数値の高いこのケチャップ。独自のスパイス配合で仕上げたこだわりの商品です。

\*送料は別途がかかります。ご希望により、どの様にもお送りいたしますので、詳しくは下記のところまでおたずねください。



**スコールおすすめ商品**

**スコールオリジナル**  
セットA

¥4,597 (セット価格)

ぶどうジュース/1本、ケチャップ/2本、ブルーベリージャム/1本、いちごジャム/1本、マーマレードジャム/1本、ぶどうジャム/1本

人気製品をセットしたおすすめギフト。製造者・ご担当者にお問い合わせください。

インターネット通販スタート! <http://www.patata33.com>

お問い合わせは・・・

**スコール事業部** まで

岩手県盛岡市向中野才川2-3

TEL.019-636-4566 FAX.019-636-0890